

テレビの受信状況アンケート報告

昨年 12 月実施の「テレビの受信状況に関するアンケート」に 151 世帯(回答率 58%、表 1 参照) の回答をいただきました。本号では概要と今後の対応を報告します。

1 号棟で表のように高率の受信障害が報告されました。受信障害の内容は NHK の 1ch、3ch の特定のチャンネルの場合が多いこと、不定期に短時間、または数時間にわたって受信障害が発生すること、そして電気機器などが原因のパルスノイズに近い受信障害が報告されています。

アマチュア無線も電波障害の原因となりますが、テレビの画面全体に縞模様が入る「ビート障害」となる場合が多く、式番街で発生 of 受信障害と異なります。また、アマチュア無線のアンテナを設備されている方に確認させていただき、「ここ数年、無線に触っていない」、また、「受信のみ」とのご回答をいただいています。

今後の対策として、「有線テレビジョン放送法」の関係で (株)JCN コアラ葛飾の協力を得ながら、総務省関東総合通信局などへの相談を含めて対応していく予定です。

電波という目に見えないものが対象のため、早急な解決が図れませんが、ご理解いただけますようよろしくお願いします。

表 1 TV 受信障害のアンケート結果

TV 受信障害	アンケート結果	
	1 号棟	2 号棟
あり	58	18
なし、又は気付かず	21	54
合計	79	72

テレビの配線のチェックについて

テレビの映りの悪い原因には下記のものもあります。参考としてください。

■ 接触不良

テレビやビデオデッキを動かした時や経年変化でケーブルと端子の接触不良を起こす場合があります。TV ケーブルを外して再接続してみてください。この原因が少なからずあります。

■ シールド性の高いケーブルに

窓サッシの誘導電波が TV ケーブルに混入し、受信障害の原因となります。シールド性の高いデジタルテレビ対応の S-4C-FB 以上の二重シールドケーブルとネジ式 F 型コネクタの使用をお勧めします。なお、プッシュプラグはノイズ面で使用を避けます。また、電波はケーブルが長いほど減衰量が増えますので、必要最小限の長さとし



【プッシュプラグ】 【ネジ式 F 型コネクタ】

■ 分波器は○、分配器は×

南流山式番街のアンテナ端子には VHF/UHF と BS の電波が混合供給されるため、「分波器」で電波に分けてテレビなどに接続します。分波器は各電波の損失はほとんどありませんが、「分配器」は電波を分けた分、減衰しますので、画質低下する場合があります。多数の機器を接続していて画質劣化する場合は屋内型ブースターの利用が有効です。